CO_2の新たな吸収源

ブルーカーボンで世界をリードせよ！

ブルーカーボンとは？

海中でのCO_2の吸収・固定のこと。
2009年の国連環境計画（UNEP）で新しい吸収源の選択肢とされました。
日本は2050年カーボンニュートラルを宣言し、脱炭素社会を目指しており、
ブルーカーボンは新たなCO_2吸収源として注目が集まっています！

CO_2吸収・貯留のメカニズム

単位：億tC/年

51 大気中に残り地球温暖化の要因となる

CO_2 94 億tC/年

グリーンカーボン

19

森林で
吸収されるCO_2

ブルーカーボン

25

面積あたりの
CO_2貯留速度

25倍

藻場
熱帯林・温帯林

地球上における
藻場の面積

1/100

海の生物を
通じて吸収・貯留されるCO_2

海水に溶け込む

吸収

1.9

0.5

貯留
海底に蓄積

貯留
流れて深海に蓄積

ブルーカーボン生態系

マングローブ
大型植物として
多くのCO_2を貯留

干潟・湿地
泥の中に
ブルーカーボンを貯留

海草の藻場
（アマモなど）
海底が巨大な「炭素貯留庫」に

根で体を固定
葉の部分で
栄養を取る

砂泥の海底に生え
根から栄養を取る

海藻の藻場
（コンブなど）
流れ藻は深海に堆積

島国日本はブルーカーボンの宝庫

日本の海岸線の長さ
約35,558km

世界第6位！

地球一周の
8割以上！

世界をリードするチャンス！

今後の課題

CO_2吸収量の評価方法や
技術確立

国だけでなく
市民の参加が大切！

知名度が低いため
普及啓発が必要

藻場は海のゆりかご

藻場は多様な生物を育み、暮らしを豊かにします。
ブルーカーボン生態系は地球温暖化を抑制するだけでなく、
さまざまな恩恵（ベネフィット）を私たちにもたらします。

教育

水質浄化

水産資源

レジャー

今こそ私たち一人一人が
ブルーカーボンの重要性について認識し、
取り組みに参加することが求められています！

国土交通省　港湾局　ブルーカーボンとは　https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_tk5_000062.html
国土交通省港湾局　海の森　ブルーカーボン　https://www.mlit.go.jp/kowan/content/001349044.pdf
気候変動 YouTube チャンネル　「ブルーカーボンと気候変動の緩和策等（前編）」　https://youtu.be/7JnsOICgWVo8
NIPPON STEEL 広報誌　Vol.24（2018年12月）「海の森づくりとブルーカーボン」
https://www.nipponsteel.com/company/publications/quarterly-manno/pdf/2018_24_01.pdf
JICE　国土技術研究センター　「海に還されている炭素」　日本」　https://www.jice.or.jp/knowledge/japan/ocean/article03
海と日本プロジェクト in 東京「第2回 藻類インフォグラフィックコンテスト」 調査研究 部門　静之助 中島・デザイン　中島静之助